

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

#### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	5 学生の受け入れ (研究科)
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

#### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

##### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 入試要項やウェブサイトを通じて、社会に広く、学生受け入れ方針を公表する	→ (ウェブサイト閲覧者+入試要項発送者) ÷ 2	A	A	A	A	A
2. 入学試験の都度、学生募集や入学者選抜が、上記の方針に沿って行われているかどうかを、内部評価する	→ 内部評価の開催回数	A	A	A	A	A
3. 入試実行小委員会委員の人選をローテーションする	→ 各教員の委員就任平均回数	B	B	B	A	A
4. 入学試験の都度、学生募集や入学者選抜についての実施状況についての内部評価を行う	→ 内部評価の開催回数	B	B	A	A	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

##### 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 入試要項はウェブサイトからダウンロードするため、発送はしていない。入試要項に学生受け入れ方針を記載しており、ウェブサイト上で公表している。また入試説明会でも学生受け入れ方針について説明している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 入試要項は発送していないが、ウェブサイトと入試説明会で周知している。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か ウェブサイトと入試説明会で広く公表しているため、今後もこれを継続する。	☆
		その他	☆

目標2	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 入学試験の都度、学生募集や入学者選抜が、学生受け入れ方針に沿って行われたかを、合格者判定の際の研究科委員会(教授会)において議論している。また入試要項は研究科委員会(教授会)にて審議し、承認した上で公表している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 入試要項を研究科委員会(教授会)で審議し、また入試合格者判定も同様に審議しているため、学生募集や入学者選抜を学生受け入れ方針に沿って行うことができた。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後もこの取り組みを継続する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標3	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 入試実行小委員会委員は毎回2名を選出しており、1名は博士課程委員または研究科長が、もう1名はそれ以外の教員が担当する。経年の担当割当表を作成し、委員が固定化されないように配慮している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 経年の担当割当表を作成したことにより、委員は固定化されずに選出されている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も担当割当表を継続し、委員がローテーションするように選出する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標4	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 入学試験の都度、学生募集および入学者選抜の実施状況を、合格者判定の際の研究科委員会(教授会)において議論している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 実施状況について研究科委員会(教授会)にて議論しており、入学試験のあり方や選考方法などについても活発に議論されている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も問題意識を持ち、常に実施状況および制度を点検する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
備考			☆

## 《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能なため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【経営戦略研究科後期課程】		前期/後期課程	単位	2010	2011	2012	2013	2014	備考
指標1	入学定員	後期課程	名	4	4	4	4	4	・5/1現在
指標2	志願者総数	後期課程	人	14	8	10	10	8	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
指標3	合格者数	後期課程	名	6	4	6	7	4	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
指標4	入学者数	後期課程	名	6	3	6	7	4	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
指標5	志願者倍率	後期課程	倍	3.5	2.0	2.5	2.5	2.0	
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	後期課程	%	—	—	1.50	1.20	1.30	
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	後期課程	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
指標8	収容定員	後期課程	名	12	12	12	12	12	
指標9	在籍学生数	後期課程	名	17	16	13	15	19	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	後期課程	%	141.7%	133.3%	108.3%	125.0%	158.3%	